

☆平成26年度 第1回六会地区防災リーダー連絡会全体会開催☆

5月20日、六会市民センター（仮設庁舎）にて、平成26年度の防災リーダー連絡会全体会が開催されました。六会地区防災リーダー連絡会の内海会長、六会市民センターの宮沢主幹の挨拶に続いて、六会地区自治会連合会の五十嵐会長から新潟県柏崎市北条地区との訪問交流会について案内がありました。

また、平成26年度の事業計画・収支予算の報告、各事業における役割分担の決定と今後の計画について打ち合わせをし、閉会となりました。



役割ごとに打ち合わせを行いました

☆平成26年度 防災リーダー連絡会 事業計画☆

- 4月 自治会連合会総会（26日）
- 5月 第1回全体会（20日）
- 6月 防災リーダーニュース №. 59発行
- 7月 救急救命講習会（13日）
- 8月 防災リーダーニュース№. 60発行
- 9月 第1回代表者会
- 10月 第2回全体会
Jr 防災リーダー 救急救命講習会に参加
防災リーダーニュース№. 61発行
- 11月 六会地区総合防災訓練（2日）
Jr 防災リーダー 防災訓練に参加
- 12月 防災リーダーニュース№. 62発行
- 1月 藤沢市地域防災活動推進大会への参加
- 2月 視察研修
4地区合同防災リーダー講習会
- 3月 第2回代表者会
防災リーダーニュース№. 63発行



『六会地区防災リーダー連絡会 会長あいさつ』 内海 幸雄

本年度の事業計画と収支予算並びに役員7名の選出が自治連総会において承認、決定されました。本年度は昨年度の事業に加え、六会地区9ヶ所の避難施設のうち、天神小学校で防災訓練を実施する予定です。

また、全36自治会や六会地区災害救援ボランティアコーディネーター会との情報・意見交換といった、広報活動を重視してまいります。それに付随し、六会地区ポータルサイトの活用も図ってまいります。さらに、公民館まつりではパネル展示の参加を予定しております。

災害は多種多様です。昨年9月には桂川氾濫により京都嵐山が浸水、10月には伊豆大島で台風の大雨による土砂災害が発生し、多大な被害をもたらしました。本年2月には2回にわたる大雪で交通網が麻痺し、通勤通学や物資運送へ影響を及ぼしました。このような異常気象は、世界中で観測されており、今後もそれに伴う災害の発生が危惧されているところであります。

災害における被害の防止・軽減を図るためには、皆様一人ひとりが近隣の方と協力し合うことが重要です。防災リーダー連絡会は、役員7名及び各自治会から選出された防災リーダーの方々に構成されており、防災に関する活動を実施・推進してまいります。引き続き、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

『六会市民センター センター長あいさつ』 渡邊 博明

平成23年3月11日に起きた東日本大震災から、早いもので3年以上がたちましたが、未だに仮設住宅等で大勢の方々が不自由な生活を強いられており、復興にはまだまだ長い年月がかかりそうです。

また、原発事故の影響も長期化するとともに、大飯原発再稼働差し止め判決が出される等、国としてのエネルギー政策をどのようにしていくか、今後の震災対応をあわせて、大きな課題となっています。

さて、平成26年度は防災リーダー連絡会の役員改選の年となっており、7名中新たに4名の方にその任を担っていただくことになりました。役員の皆さん、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

今年の総合防災訓練は、市全体の訓練が8月30日に、また六会地区の訓練が11月2日に、いずれも消防訓練センターで開催される予定となっています。

六会地区内に在住の障がいをお持ちの方々が、今年も訓練にご参加いただけるよう、藤沢市福祉団体連絡会と、調整を行っているところです。こうした災害弱者の方々が、実際に訓練にご参加いただくことによりまして、地域における顔の見える関係が構築され、共助の精神がより高まっていくことにつながれば、と思っています。

こうした取り組みを含め、防災リーダー連絡会の皆さんをはじめ、地域住民の皆さんの一層の防災活動に対するご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

『災害救援ボランティアコーディネーターについて』 六会地区災害救援ボランティアコーディネーター会代表 芦垣栄

東日本大震災という未曾有の災害から、3年3ヶ月余りが過ぎました。この大震災を教訓として、私たち一人ひとりに防災への真摯な取り組み（各家庭での備え、地域での助け合い）が求められています。

いざという時、地域の行政機関や熱意あるボランティアの方々と被災者（被災地）からの要請を結びつけるのが、災害ボランティアコーディネーターの役割です。

各自治会から選出された防災リーダーの方々はもちろん、一般市民の方々にボランティアセンター立ち上げや運営に関心ある皆様もぜひ、この「災害ボランティアコーディネーター」の資格を取得して役立ててください。室内での模擬訓練（1日）と実践訓練（市内の防災訓練に約半日参加）の両方を修了すれば、この資格が取得できます。

今年も市内3ヶ所の市民センターで、この「災害ボランティアコーディネーター」の養成講座開催を予定しております。詳細が決まりましたら、改めて市の広報や防災リーダーニュース等でお知らせいたしますので、ふるってお申し込みください。

編集担当自治会

新亀井野・湘南自由ヶ丘、富士見台、駅前高層住宅